

データ分析に関する研修会で取り上げてほしいテーマ

《研修会受講者アンケート結果》

A: データ分析の視点・切り口

【総意見数 11】

意見番号	内容
1	データ分析の視点
2	データ分析の視点とデータ分析の読み方
3	データ分析のとっかかり方法
4	分析に使用する標準的な切り口(糖尿ならHbA1c6.5、血圧ならいくつ等)
5	データ分析の切り口、どの様にデータ抽出をして比較したらよいのか
6	どのデータをどのようにみて課題を抽出するのか、具体的な課題抽出方法
7	データ分析を行う上でのポイント、取り組みやすく効果的な施策を行うための考え方
8	データ解析の方法について
9	そもそもデータ分析をどうやったらよいか分からない (今も行ってはいるが、そのデータがどの程度信頼性のあるものか、わかる人がおらず、手探り状態である)
10	「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」「第3編 保健指導」「第3章 保健事業(保健指導)計画の作成」「2-2 保健事業(保健指導)計画作成にあたっての現状分析と分析結果の整理」に記載している内容の、具体的実施方法について
11	仮の健保事例(数値など)を示した上で、講義中に一緒に分析への視点、手法を学べるようなもの (陥りやすい統計ミスの例示等を含む)

B: データ分析に基づいた保健事業の企画立案

【総意見数 3】

意見番号	内容
12	データ分析の見方(事業への結びつけ方)
13	データ分析を元にどのような活動をしたのか
14	企画立案、健康課題に対する事業構築のコツ

C: 効果検証・事業の見直し

【総意見数 4】

意見番号	内容
15	効果検証方法(具体的な方法、システム、業者など)
16	保健事業の適正な効果検証
17	効果検証方法
18	データ分析による保健事業の見直しについて

D: データ分析結果の見せ方

【総意見数 2】

意見番号	内容
19	データ分析して、その結果の分かりやすい見せ方、ビジュアルの工夫
20	組合、理事や事業所担当者が理解しやすいデータ分析結果の見せ方

E: アウトプット・アウトカム指標について

【総意見数 3】

意見番号	内容
21	アウトプット、アウトカムを可視化する分析方法
22	データヘルス計画のアウトカム指標の決め方
23	指導量(介入量)と結果の結びつきに関する知見

F: 各種保健事業に関する分析

【総意見数 3】

意見番号	内容
24	重複受診の分析と対応
25	がん罹患率/医療費に係る年齢別、性別、事業主別の分析
26	メンタルのデータ分析

G: 基礎的な知識について

【総意見数 2】

意見番号	内容
27	データ分析のための統計の基礎について
28	疾病分析から保健事業へ結びつけるための知識について(「循環器疾患が多いと、現在高血圧の人へのアプローチが重要」等) ※事務職なので、基本的な医療の知識がないため

H: 事例の共有

【総意見数 7】

意見番号	内容
29	基礎的な分析事例の紹介
30	効果のあった分析事例の紹介
31	総合型健保組合の事例の紹介
32	総合健保における成功事例の紹介
33	加入者数の事例に幅が欲しい(小規模事例の紹介等)
34	特定以外の健診データとレセプト分析のデータの分析について (それぞれ事業所と健保で保有しているため、同時分析が出来そうで出来ないと思われるが、どのように分析しているのか)
35	データ分析を利用した保険者と事業主のコラボヘルスについて(「①何のために、②どうやって、③何をしているのか」) 健康課題⇄健康経営への結び付け方

I: その他

意見番号	内容
36	スコアリングレポート上位健保の取組事例の紹介

データ分析に関する研修会で受講したい講師

意見 番号	内容
1	古井 祐司先生のイメージしやすい取組へのアドバイス、何が壁となるか、どこにフォーカスするのか等に加え、他の保険者の方々の取組を伺って大変参考になりました。またシリーズで時々開催を希望いたします。

※東京大学未来ビジョン研究センター 古井 祐司先生には、平成31年3月6日開催「平成30年度 データを活用した保健事業の取組事例発表会」において、講師を務めていただきました。《講義テーマ:「保健事業の実施に係るPDCA 及びデータヘルス・ポータルサイト等について」》